

みたけさん

御岳山（青梅市）

神様の山に暮らす動物たち



御岳山は、東京都心から車で1時間ほどであり、昔から神様が宿ると信じられてきた霊山です。山の中腹には神社もあって、秋は紅葉の名所になっています。

神社のすぐ近くの雑木林では、様々な野鳥などが見られます。人気スポットであるロックガーデンは、あちらこちらに不思議なかたちの岩があって、小川が流れています。川の中には、冷たくて水がきれいな溪流を好むヤマメが泳いでいます。

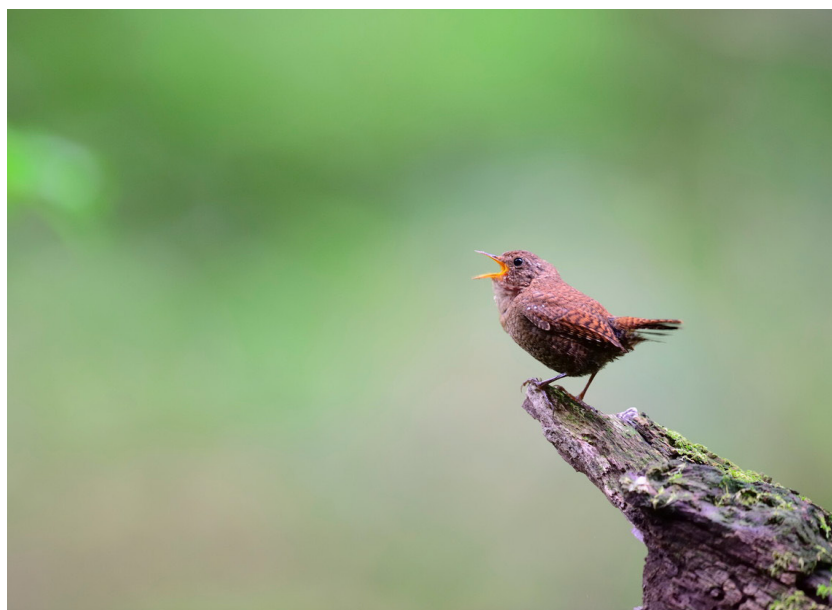
御岳山は神様のための森として、木を切ることが禁じられ、手つかずの自然が残っています。ここではニホンカモシカも見られます。秋のうちにたくさん食べ、冬に備えます。

【見られる生きもの】

イカル	黄色く大きなくちばしが特徴。主に山地などで暮らしていますが、冬は平地で見られることもあります。
カシラダカ	冬鳥としてやってくる鳥。日本、また世界的にも減少傾向にあり、耕作地などの生息環境を守る必要があります。
エナガ	平地から山地の樹林などに生息し、昆虫などを食べます。他種の小鳥たちと一緒にいるところも見かけます。
サクラマス（ヤマメ）	成長すると海に下る個体も多いですが、一生を川で過ごす個体もあり、これをヤマメといいます。
ミソサザイ	日本にいる鳥で1、2を争う小さな鳥。夏になると溪流沿いの湿った地面や倒木の上でさえずります。
ニホンカモシカ	ツノは一生もので生え変わりません。元々は標高の高い山地の動物ですが、個体数が増え低山でもみられるように。



ニホンカモシカ



ミソサザイ

東京にもこのような自然があることを、知っていましたか？

雑木林や溪流など、それぞれの環境に応じていろいろな生きものが暮らしています。ぜひ、実際に足を運んでみて、自然の美しさに触れてもらうとともに、こうした環境を守っていくことの大切さを感じてもらえれば嬉しいです。